



平成 30 年 4 月 23 日

各 位

会 社 名 テックファームホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 永守 秀章  
(コード番号: 3 6 2 5 J A S D A Q)  
問 合 せ 先 経営管理部長 松本 圭太  
(TEL. 0 3 - 5 3 6 5 - 7 8 8 8 )

## 業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年8月10日に公表いたしました平成30年6月期（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成30年6月期第3四半期会計期間において特別損失（減損損失）を計上する見通しとなりましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	5,000	180	167	30	4.06
今回修正予想（B）	5,300	360	360	130	17.58
増 減 額（B－A）	300	180	193	100	—
増 減 率（％）	6.0	100.0	115.6	333.3	—
（参考）前期連結実績 （平成 29 年 6 月 期）	4,668	165	161	26	3.73

#### 2. 修正の理由

ソフトウェア受託開発事業において、既存顧客の深耕営業による案件獲得、注力領域である AI、IoT を活用した案件の受注が好調なことに加え、プロジェクト管理ツールの導入・運用、パートナーマネジメントなどこれまで取り組んできた採算管理の整備が順調に進み、生産性が向上、不採算案件は低位安定したことにより、売上高・セグメント利益ともに過去最高となる見込みであります。

また、自動車アフターマーケット事業においても、主力の整備システムの販売に加え、グループの開発力を活かした新商品である車検工程管理システムの販売を開始したことにより、事業業績は

順調に推移しております。

上記により、平成 30 年 6 月期の通期連結業績の売上高、営業利益、経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益については、前回予想を上回る見込みであります。

### 3. 特別損失（減損損失）の内容

米国ラスベガスでカジノ施設向け電子決済サービスの事業化に向けて進めております Prism Solutions Inc. が保有する資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損の兆候が認められたため、減損損失として 43 百万円を計上することといたしました。

なお、カジノ施設向け電子決済サービスについては、米国ラスベガスでのフィールドテストの実施へ向けに取り組むとともに、日本国内での IR 施設への導入を目指し、引き続き進めてまいります。

以 上